

7/3 福島小の交通少年団員が地域の安全を誓う



福島小交通少年団結団式が同校長室で行われました。7人の団員へ市民協働課の吉田高広課長から団員証が手渡された後、串間警察署地域交通課の森田宏友課長が「事故が1件も起きないよう一緒に協力してもらえたら」とあいさつ。最後は団員らが「福島小学校交通少年団員として、みんなが交通事故に遭わないために交通ルールを守ること、お互いに助け合うこと、交通安全運動に協力することを誓います。」と誓いのことばを述べました。団員は今後、パトカーに乗って交通安全の啓発を呼びかけるなどの活動を行います。

7/2 畑一面のヒマワリが見頃を迎える



大東地区のよかバス停留所、揚原から上園田に向かう道路の右手でヒマワリが畑一面に咲き誇り、見頃を迎えました。畑を管理されているクボタ園芸の久保田義弘さんは、「作物を作らない間はこのように植えていると土が良くなる。見頃は1週間ほど続くのでその後はハウレンソウを栽培予定。」と話していました。高さ2メートルを越えるヒマワリは、真夏の農地を黄金色に輝かせていました。「今後は作付面積を増やし開花時期をずらして、さらに楽しんでもらえるように計画していきたい。」と久保田さん。来年に期待が膨らみます。

6/30 ちぐさ保育園が手作りの七夕飾りを贈呈



ちぐさ保育園の年長・年中児16人は、串間市民病院と串間市総合保健福祉センターを訪れ、同院の高屋剛副院長と、同所の西村和弘所長へ手作りの七夕飾りを1本ずつ贈呈しました。5月から作り始めた飾りや、全園児らの願いを込めた短冊などで彩られた約3メートルの七夕飾り。「みんなげんきにすごせますように」など、さまざまな願いが書かれていました。園児らは、訪れた方々にも願いを書いてもらえたらと短冊も手渡しました。

参加者 谷口 桜さん

「保育園の先生になりたいと書きました。楽しく作って渡すことができました。」



7/9 ～「幸せの森」植樹祭～



都井小みどりの少年団の活動をねぎらうことを目的として、本城地区の市有林にて植樹祭を行いました。児童らは緑が大きく育ち、豊かな森になることを願い、スギやケヤキの苗を約260本植えました。都井小みどりの少年団は、都井地区を中心に自然愛護に努め、秋祭りでの緑の募金や団員が育てた花のプランターを公共施設へ配布するなど、緑を守り育てる活動を行っています。植樹祭には、市、市内の農林水産業、商工関係者など約60人が参加。植樹祭の行われた現地は、緑いっぱいの森になった時に訪れた人が幸せな気持ちになってほしい、という願いを込め「幸せの森」と名付けられました。団員の河野泰芽さんは「緑いっぱいにできて楽しかった。木が大きくなってみんなに活用されるのが楽しみです。」と話していました。

7/8 防災について学びを深める



防災への意識を高めてもらうことを目的として、航空自衛隊高畑山分屯基地の古澤幹広司令は本城小学校の児童らを対象に「防災講話」を実施しました。児童らは古澤司令の東日本大震災での体験談をもとに、災害の怖さや備えの重要性について学びました。古澤司令は、「水や食料などは、3日から1週間分貯蓄しておくことが重要。」と話していました。講話後には、新聞紙を使ったスリッパの作り方も紹介され、児童らは「いざという時に備えて、日頃から準備しておく重要性を学びました。」と話していました。

7/4 ☆七夕夜市☆



この日限りの特別な「七夕夜市」が道の駅くしまにて開催されました。七夕飾りで彩られた道の駅くしまで、いつもとは違う雰囲気の中、地元パフォーマーによるステージイベント、子どもたちが願い事を書いた短冊の展示などが行われ、ロマンチックな夏の夕暮れはたくさんの方々でにぎわっていました。

もくじ CONTENTS

くしぴ!ーくしまトピックスー	2
特集「国スポの本大会に向けて リハーサル大会決定」	4
くしまっ子	6
すくすくのびのびー子育て支援情報ー	8
十人十色ー子育て支援情報ー	9
市民病院からのお知らせ	10
じゃがじゃが健幸通信	11
うたごよみ	12
図書館に行こう	13
市長コラム	13
PICK UP! 串間	14
教育委員会だより	15
串間市の人事行政運営などの 状況を公表します	16
情報BOX インフォメーション	20
年金トピック	23
無料相談案内	24
警察署だより	24
消防くしま119	25
道の駅くしまだより	26
地球のメッセージ	27
税チャンネル	27
日南市初期夜間急病センター	27
「くしデリグラム」写真募集	27
編集後記	27
今月のくしまカレンダー	28
日曜給油店、休日在宅医	28
人口のうごき	28

今月の表紙



串間市子ども会育成連絡協議会主催の子ども会レクリエーション「ニジマス釣り大会」が8月7日に桂原親水公園で実施されました。串間市淡水漁業協同組合などの協力のもと、児童約70人が参加。2つのグループに分かれて、ニジマス釣りや水質調査などを行いました。つかみ取りで参加者たちは「とれたー!!」と喜びの声を上げながら楽しみ、最後はその場で炭火で焼いたニジマスを、満面の笑みで頬張っていました。参加した奥浦羽南さんは「魚を捕まえて楽しかった。来年も来たい。」と話していました。

参加者 おくうらはな 奥浦 羽南さん

